



小型ロケットや人工衛星の開発を手掛ける道宇宙科学技術創成センターは十一日、宇宙観光飛行の実現を目指す米ロケットプレーン社(オシラホマシテイ)のチャールズ・ラウアー営業部長ら

大樹から宇宙飛行!?

米ロケットプレーン社

営業部長ら 25日に札幌で講演

の講演会を二十五日午後、札幌市内で開くと発表した。同社は二〇〇七年に米国での営業宇宙飛行を予定。将来は同セクターと提携し、道内の事業化も検討している。同社では昨春秋、スケールド・コンボジット社が宇宙船「スペースシップワン」で弾道宇宙飛行に一回成功。民間宇宙飛行船の実験が行われる大樹町の多目的航空公園の利用などが考えられるという。同セクターの伊藤一 副理事長は北海道大名産 教授によるロケットプレーン社は小型ビジネスジェット機にロケット エンジンを追加搭載し、(札幌市中央区。問い合わせ先は同セクター) 〇一七・〇八・一六 宇宙との境界である高度 一七。

百への飛行を目指す。 表現には航空法上の整備が必要。将来、道を基地として宇宙飛行を行う場合も空港利用は難しく、グライダーの滑空や飛行船の実験が行われる大樹町の多目的航空公園の利用などが考えられるという。



発行所
十勝毎日新聞社
〒080-8688
帯広市東一条南8丁目
TEL(代表)0155-22-2121
編集局 0155-22-2121
広告局 0155-23-2323
販売局 0155-24-2222
庶務局 0155-22-7555
総務局 0155-24-2299